



クスリをともだちに

- クスリの種類について -

おくすりは病気を治すお手伝いをします。現在、わが国には医療用医薬品という医師から処方されるおくすりは2000種類以上あります。

今回から、身近な病気に処方されるおくすりについてお話ししていきます。

🟡 かぜ・インフルエンザのくすり 🟡

身近な病気のひとつで、鼻水、のどの痛み、咳や発熱などの症状がでて、1年に数回かぜをひく人もいます。医師は症状を診て、解熱鎮痛消炎薬、抗ヒスタミン薬、鎮咳薬、そして抗生物質、抗ウイルス薬などのおくすりを処方します。



鎮痛解熱薬

熱を下げたり、のどや関節の痛みや腫れをおさえるおくすりです。作用機序は、炎症や発熱の起因物質である「プロスタグランジン」という体内物質の生合成を妨げることによります。アセトアミノフェン、ロキソニン、ポンタールなどがありますが、胃を荒らすことがあります。



抗ヒスタミン薬

鼻水やクシャミの症状をおさえるおくすりです。作用機序は、「H1レセプター」に作用してヒスタミンの働きを弱めることによります。ポララミン、ペリアクチンなどがありますが、人によっては眠くなることがあります。



鎮咳薬

咳のひどいときに処方されます。痰の少ない乾いた咳に向きます。脳にある咳中枢をしずめます。リン酸コデイン、メジコンなどがあります。



抗生物質

かぜをひいた時に細菌による二次感染を起こすことがあります。抗生物質は細菌の増殖を抑えるおくすりです。細菌が死滅すれば、炎症も治まるわけです。鼻かぜや軽いかぜには必要ありません。ケフラール、セフゾン、クラビットなどがあります。



抗ウイルス薬

インフルエンザには抗生物質は効きません。インフルエンザウイルスを抑えるおくすりが、最近になって開発されました。タミフル、リレンザがあります。

症状に合った薬が適正に処方されるよう、医師、薬剤師に症状をよく説明してくださいね。



胃腸のくすり

胃の代表的な病気には、機能性胃腸症、胃炎、胃潰瘍などがあります。一番多いのは機能性胃腸症です。胃の粘膜に異常がないのに、吐き気、もたれ、痛み、胸やけ、といった不快な症状で、胃炎や胃潰瘍は、実際に胃粘膜に炎症を起こしているものをいいます。胃の病気のおくすりは、たくさんあります。症状に合わせて、数種類のおくすりを処方することがあります。



健胃薬

いわゆる「胃散」とよばれる薄茶色の粉薬です。胃のもたれ、食欲不振、胸やけ、吐き気などの症状に昔からよく使われています。胃酸を中和する制酸薬、食欲を増す生薬、消化を助ける消化酵素、痛みをとる成分が配合されています。SM散、AM散などがあります。



胃粘膜保護薬

傷ついた胃の粘膜を覆うことにより、胃酸などから粘膜を保護する作用があります。アルサルミン、イサロン、マーロックスなどがあります。



H2受容体拮抗薬

ヒスタミンを介する経路「H2レセプター」に作用して胃酸分泌を抑制します。胃酸による胃粘膜への刺激が弱くなるので、胃炎や胃潰瘍の治癒につながります。タガメット、ガスター、ゼンタックなどがあります。



ムスカリン受容体拮抗薬

「ムスカリン」と呼ばれる受容体に作用して胃酸分泌を抑制するおくすりです。胃酸による胃粘膜への刺激が弱くなるので、胃炎や胃潰瘍の治癒につながります。ガストロゼピンがこのタイプのおくすりです。



プロトンポンプ阻害薬

最も新しい分類の薬で、上記のH2受容体拮抗薬やムスカリン受容体拮抗薬を上回る、強い胃酸分泌抑制作用を持っています。オメプラール、オメプラゾン、タケプロンなどがあります。

おくすりミニ知識

スイッチOTC薬

医療用医薬品として使用が認められている成分の中で、比較的副作用が少なく、安全性の高い成分の一般用医薬品への転用をいいます。最近、スイッチOTC薬が増加傾向にあり、イブプロフェン、シメチジン、ガスター、インドメタシンといったおくすりがOTC薬になりました。

新薬とジェネリック医薬品

新薬を開発するためには、10～15年の長い研究時間と数百億円という莫大な投資費用がかかります。そのために新薬は一定期間、特許期間(20～25年)という形で保護され、開発メーカーによって独占的に製造販売されます。

新薬(先発品)の特許が切れると、他の製薬会社でも製造可能な薬となり、通常3～4年の期間と数千万円の開発経費をかけてジェネリック医薬品(=後発品)が製造されるのです。ジェネリック医薬品は、先発品と「薬の名称」は異なりますが、成分も効用も全く同じのものであると厚生省が認可した医薬品です。「ゾロ薬」などとも呼ばれます。

特定非営利活動法人HAB研究機構

<http://www.hab.or.jp>

監修: 須賀 哲弥

(青森大学 薬学部)

発行: 2005年5月20日

